



インフルエンザ予防

笑い
うが
マ
栄
睡
い
が
ス
ク
養
眠

「品格」を身につける教育やしつけを

校長 木之下 浩一

「花も生きているんやから、水に入れてあげなさい」と、監督の厳しい言葉。とっさに「花を入れる容器がありません」と言い訳をする選手たち。その言い訳に「少しは考えなさい!」と怒りを倍増させ声を荒げる監督。これは、ある国際大会で勝利した者に贈られる花束が無造作に部屋に放り出されているのを見つけた井村雅代さんが、「不屈の魂」の書で著した一節です。

その後、井村さんは、ペットボトルの上部を切り取った即席の花瓶の作り方や試合後、花束に「ありがとう」の言葉を添えて、お世話になったコーチやトレーナーに感謝の気持ちを伝えることなどを指導しました。現在、この日本チームの選手たちは、それを伝統として実践しています。

井村さんは、「日本シンクロナイズドスイミングの母」と呼ばれ、リオ五輪で監督として日本を銅メダル獲得に導いたことは、記憶に新しいところです。厳しい指導には定評がありますが、勝負だけにこだわらず、人を育て、心を育てることを大事にしているすばらしい指導者です。

昨今、私たち大人は、子供たちに「寄り添う」ことを大事にするようになってきました。子供からじっくり話を聞き、個々の実態に応じた助言をし、共感しながら、しつけや指導に当たっています。反面、目の前の課題解決のみに心を奪われ、子供の気持ちを大事にし過ぎるあまり、「その場、その時で教えるべき常識や厳しさ」といった、将来、大人になった際の「品格を育む営み」が少なくなってきたように感じます。

教育やしつけは、先が長い働きかけであり、結果や成果がすぐに出るものではありません。子供たちを褒めて伸ばすことは、大切なことですが、子供たちが良識ある大人となることをゴールとするならば、今、しつけるべきはしつけ、教えるべきは教えることが、先にあるゴールを手前に引き寄せることになるのではないかと私は考えます。

井村さんはこう続けます。「花を水にもつけず、その辺に置いておく子に、人を感動させる美しい演技ができますか。私は、選手にトップアスリートとしてのパリッとした品格を身につけて欲しいんです」と。

かごしまの教育県民週間 坂元中プライド 2学期期末テスト (11/18~11/19) 結果は?

坂元中学校では、375人の生徒が夢挑戦の主役になることをめざし、みんなで文武両道の努力を続けています。また、校内がすっきりしている、生徒が落ち着いているなどの意見をいただきました。お忙しい中御来校いただきありがとうございますございました。



また、坂元中三大祭り最後の文化祭など大きな行事が終わり、学習に集中できる時期ですが、テスト前の部活動停止期間中の取組、御家庭での取組はいかがでしたか? 「あと一問」「あと3点」最後まで粘り強く取り組む姿勢(構え)が大切です。

新潟国文祭「詩(ことば)フェスティバル」学校賞受賞



短歌部門 特別賞
現代歌人協会賞
甲斐 風沙さん(2年)
新潟県教育委員会教育長賞
東 太陽くん(3年)



俳句・短歌・現代詩の3部門に全校生徒が出品。特別賞のほか特選に7名、入選49名が選ばれ、学校全体での取り組みが「学校賞」に輝きました。なお、11月28日付けの南日本新聞に大きく掲載されています。

PTAバザー 大雨でもたくさんの来場者 感謝

11月24日(日)、大雨(雷雨)が降る中、2年に一度のPTAバザーが開催されました。前日の午後と当日の朝の準備と午後の片づけまで、保護者に皆様、地域住民の皆様の御協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。収益金は、後日お知らせします。



わがまちが誇る伝承芸能 今年も参加! 第27回せばる隼人舞まつり

1年生の総合的な学習の時間(コース別学習)に「せばる隼人舞」があり、毎年11月23日にせばる隼人舞まつりで舞いを披露しています。保存会の方のご指導のもと、25名の生徒は、これまでたくさん練習し、松明(たいまつ)の舞いを披露してくれました。「来年も舞人になりたい」という生徒もいて、保存会の方も喜んでいらっしゃいました。



